

## 事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 25 年度
1次評価日（主幹等）	26年3月24日
2次評価日（課長等）	26年3月31日

1 事業名	環境保全推進事業	コード	71201
-------	----------	-----	-------

2 担当部課	部等 市民環境部	課等 環境課	作成者 高橋 克実
--------	----------	--------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	自然環境と暮らしが調和した、安全・安心なまち		
		政 策	環境保全の推進	施 策	地球環境対策の推進
		予算科目	環境保全推進事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

## ●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）
事業の概要 （簡潔に）	岡谷市の望ましい環境像「あふれる緑と清らかな水につつまれたまち」の実現のため、環境保全を推進するための施策を展開する。	
目的	対象者	市民
	意 図	岡谷市の恵まれた豊かな自然を将来にわたって育てていく。

5 事業の実施内容		*25年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容
○環境基本計画の推進		
<ul style="list-style-type: none"> <li>第2次環境基本計画を推進するため、各課において25年度で実施した事業の実績をまとめた。</li> <li>環境基本計画における重点目標や事業者、市民、行政が行うことなど具体的な取り組みを広報おかやに掲載し啓発を図った。</li> <li>太陽光発電システム、雨水貯留施設の設置に対する補助金の実施。</li> <li>環境保全（緑のカーテン事業、おかや一斉気温測定、我が家の省エネ自慢（環境家計簿）、ノーマイカー通勤デー、エコポイント事業）の推進を図った。</li> <li>9月22日（日）に岡谷市清掃工場とやまびこ公園周辺で、50団体、2,700人の参加を得て、エコフェスティバルを開催した。</li> </ul>		
前年度の課題への対応	第2次岡谷市環境基本計画を推進するため、企業、団体等と話し合いをし、理解を深めた。	

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区 分	23年度	24年度	25年度	26年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	環境基本計画推進のための新聞・広報おかや掲載回数			単位	回
実績値	12	12	12		
*指標の説明	毎月（12ヶ月）				
② 成果指標（指標名）	環境基本計画推進のための新聞・広報おかや掲載回数			単位	回
目標値	12	12	12	12	
実績値	12	12	12		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
*指標の説明	1回×12ヶ月（21年度～広報のみ）				
*目標値の設定方法の説明	新聞・広報おかやへ掲載し情報提供した回数				

7 ア) コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	17,778,687	20,116,922	18,074,188	12,344,000
経常経費	311,080	350,000	1,888,200	2,247,000
臨時的経費	17,467,607	19,766,922	16,185,988	10,097,000
* 臨時的経費の説明	〈H25〉 臨時職員の持ち替え 〈H26〉 環境基本計画策定事業の増、補助金の対象期間の見直しによる減			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(見込み)
② 人件費	8,000,000	8,000,000	8,000,000	8,000,000
正規職員の人数(人)	1.00	1.00	1.00	1.00
③ 合計コスト(①+②)	25,778,687	28,116,922	26,074,188	20,344,000
前年度比		109.1%	92.7%	78.0%
財源内訳				
一般財源	25,778,687	28,116,922	26,074,188	20,344,000
特定財源	0	0	0	0
* 特定財源の説明	-			
④ 活動一単位あたりコスト	692,590	695,833	824,017	
前年度比		100.5%	118.4%	
⑤ コストに関する補足説明	-			

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
長野県環境保全協会負担金	件数	1	1	1	1
	金額	30,000	30,000	30,000	30,000
地球にやさしい暮らし応援補助金	件数	136	194	201	190
	金額	17,285,000	19,606,000	16,033,000	8,790,000
環境市民会議おかや	件数	1	1	1	1
	金額	200,000	200,000	200,000	200,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	17,515,000	19,836,000	16,263,000	9,020,000
	割合	98.52%	98.60%	89.98%	73.07%

\* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

\* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

\* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

高い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 100.0%	1
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 100.0%	1

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	<p>(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)</p> <p>第2次岡谷市環境基本計画を事業者、市民等の理解を得て推進することが必要である。 平成26年度で第2次岡谷市環境基本計画が終了するため、第3次岡谷市環境基本計画の策定が必要である。 清掃工場の取り壊しにより、来年度のエコフェスティバルを開催する場所の選定が必要となる。</p>	
	改善方法	<p>(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容)</p> <p>イベント開催時、補助金交付時等に事業者、市民にPRしていく。 平成26年度で終了する第2次岡谷市環境基本計画を継承し、見直しをする形で、第3次岡谷市環境基本計画を策定する。 エコフェスティバル実行委員会で場所を選定していく。</p>
	改善開始時期	平成26年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	A
-----------	--------	---	---